

事項	飼料用ライ麦の奨励品種「春香」の特性		
ねらい	<p>本県に適する飼料用ライ麦の品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「春香」は耐倒伏性が極めて強く、収量性に優ることが明らかとなったので、奨励品種として普及に移す。</p>		
普及する内容	<p>1 来歴 雪印種苗株式会社が平成6年に育成した品種であり、平成8年から同社が販売している。</p> <p>2 主な特性</p> <p>(1) 越冬前の生育特性 発芽の良否、定着の良否及び冠部被度は早生品種よりやや劣る。</p> <p>(2) 越冬後の生育特性</p> <p>ア 越冬後の枯死面積が少なく、越冬性は良好である。 イ 早春の草勢は良好である。 ウ 出穂始期は早生品種より1週間程度遅い5月23日頃である。 エ 耐倒伏性は極めて強い。 オ 出穂揃期の草丈は115cm程度である。</p> <p>(3) 風乾収量 出穂期～出穂揃期の風乾収量は10a当たり670kg程度である。</p>		
期待される効果	トウモロコシ－ライ麦－トウモロコシの2年3作体系等の冬作物として導入することにより、飼料自給率向上に寄与する。		
普及上の注意事項	ライ麦は刈り遅れると嗜好性が低下し消化性も悪化するので、出穂期までに刈り取る。		
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成22年度 東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 生育特性

(平成20～22年 青森畜産研)

形 質	早生品種		晩生品種		備 考 (評点法等)
	春一番	キングライ麦	春香	ライスター	
<b>[越冬前の生育特性]</b>					
発芽の良否	9.0	8.0	7.5	7.5	9(極良)～1(極不良)
定着の良否	7.9	8.0	6.7	7.3	〃
越冬前の冠部被度	94	88	79	82	%
<b>[越冬後の生育特性]</b>					
枯死面積率	3	7	8	83	消雪1～2週後、%
早春の草勢	8.0	7.0	7.9	1.4	9(極良)～1(極不良)
出穂始期	5/16	5/16	5/23	5/18	月/日
倒伏程度	8.0	5.5	1.0	1.0	1(無・微)～9(甚)
草 丈	118	118	115	—	cm

(注) 1 2か年の平均値。(草丈は平成22年のみ調査)

2 ライスターは1年目(平成21年)のみ出穂した。

3 2年目のライスターは著しく生育が不良なため草丈は調査せず。

表2 収 量 (kg/10a)

(平成21、22年 青森畜産研)

品種名	生草収量			風乾収量		
	平成21年	平成22年	平均	平成21年	平成22年	平均
春一番	4,500	4,396	4,448	750	552	651
キングライ麦	3,992	3,691	3,842	652	503	578
春 香	4,217	3,806	4,012	744	594	669
ライスター	1,992	—	1,992	431	—	431

(注) 平成22年のライスターは調査不能。

[耕種概要]

- 1 試験場所 畜産研究所内圃場
- 2 播種期及び播種方法
  - ・播種期：平成20年9月30日、平成21年9月25日
  - ・播種方法：散播、播種量は8kg/10a(平成20年のライスターのみ10kg/10a)
- 3 施肥量(10a当たり)
  - ・造成時：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=5-10-0kg、ようりん100kg、牛糞堆肥2t
  - ・早春追肥：N=4kg
- 4刈取期
  - ・平成21年：早生品種は5月19日、晩生品種は5月26日、いずれも出穂期刈り
  - ・平成22年：早生品種は5月28日、晩生品種は6月1日、いずれも出穂揃期刈り